

# 歳入 ～国や東京都の収入～

国や東京都の収入は、次のグラフのようになります。

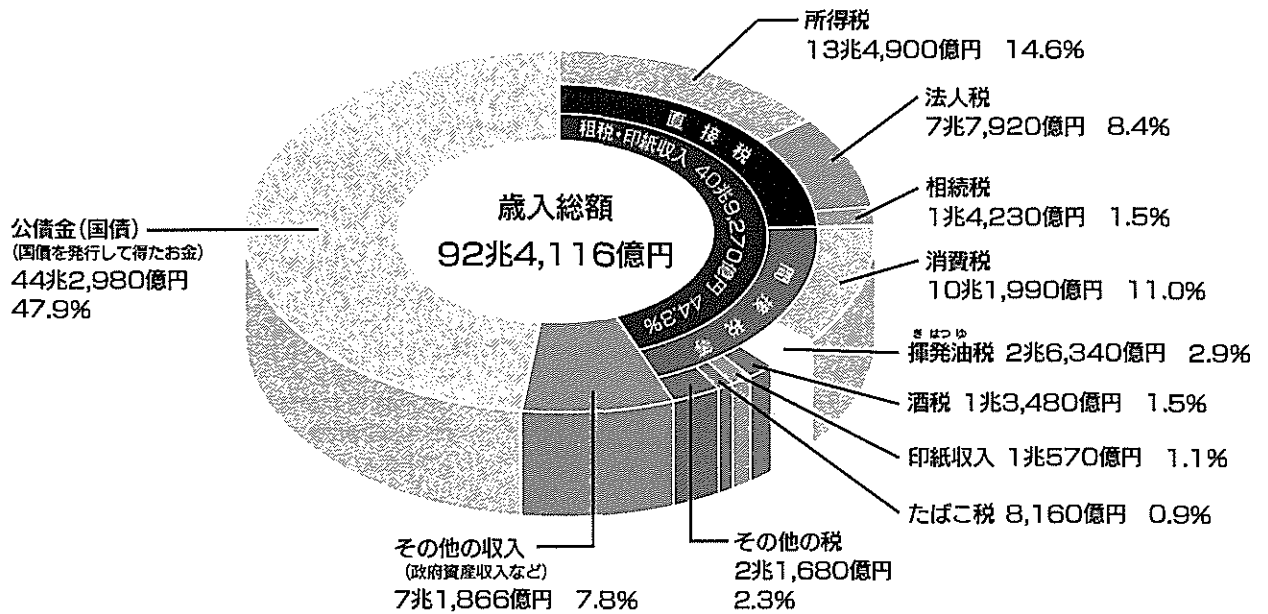
国や東京都の1年間（4月から翌年3月まで）の収入のことを歳入さいにゅうといいます。

1年間の収入（歳入）や支出（歳出）を、あらかじめ見積もって計算したものを予算といい、この予算は国会や都議会で決められます。

## 国の歳入の内訳

### 一般会計歳入

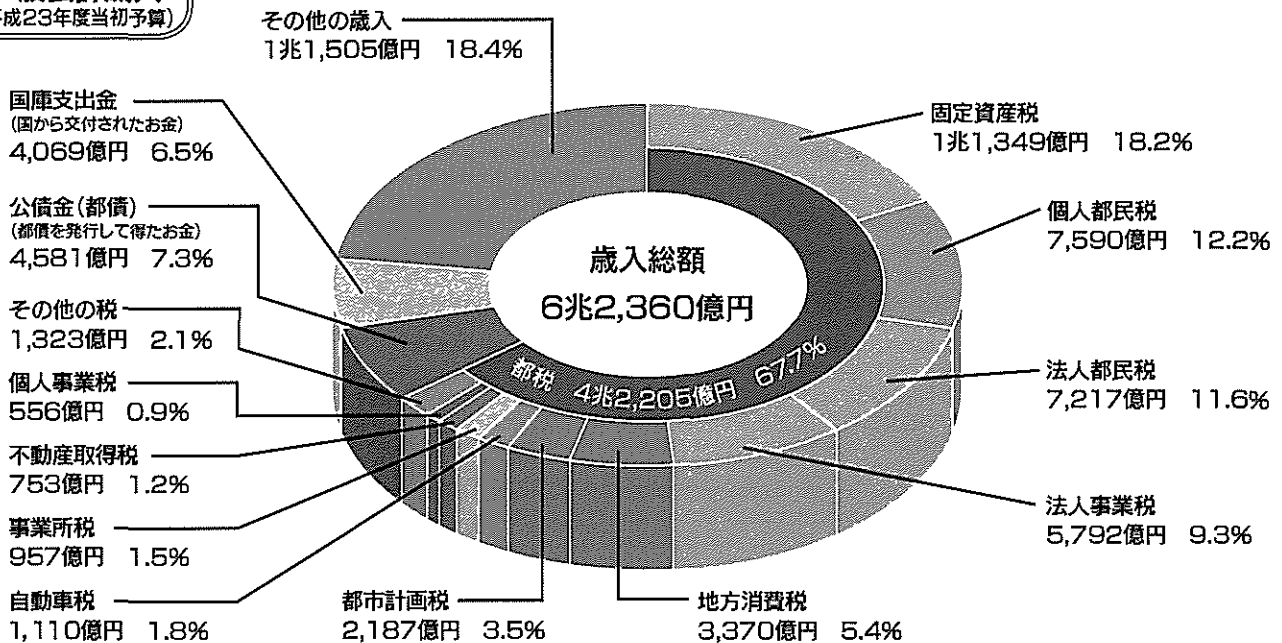
（平成23年度当初予算）



## 東京都の歳入の内訳

### 一般会計歳入

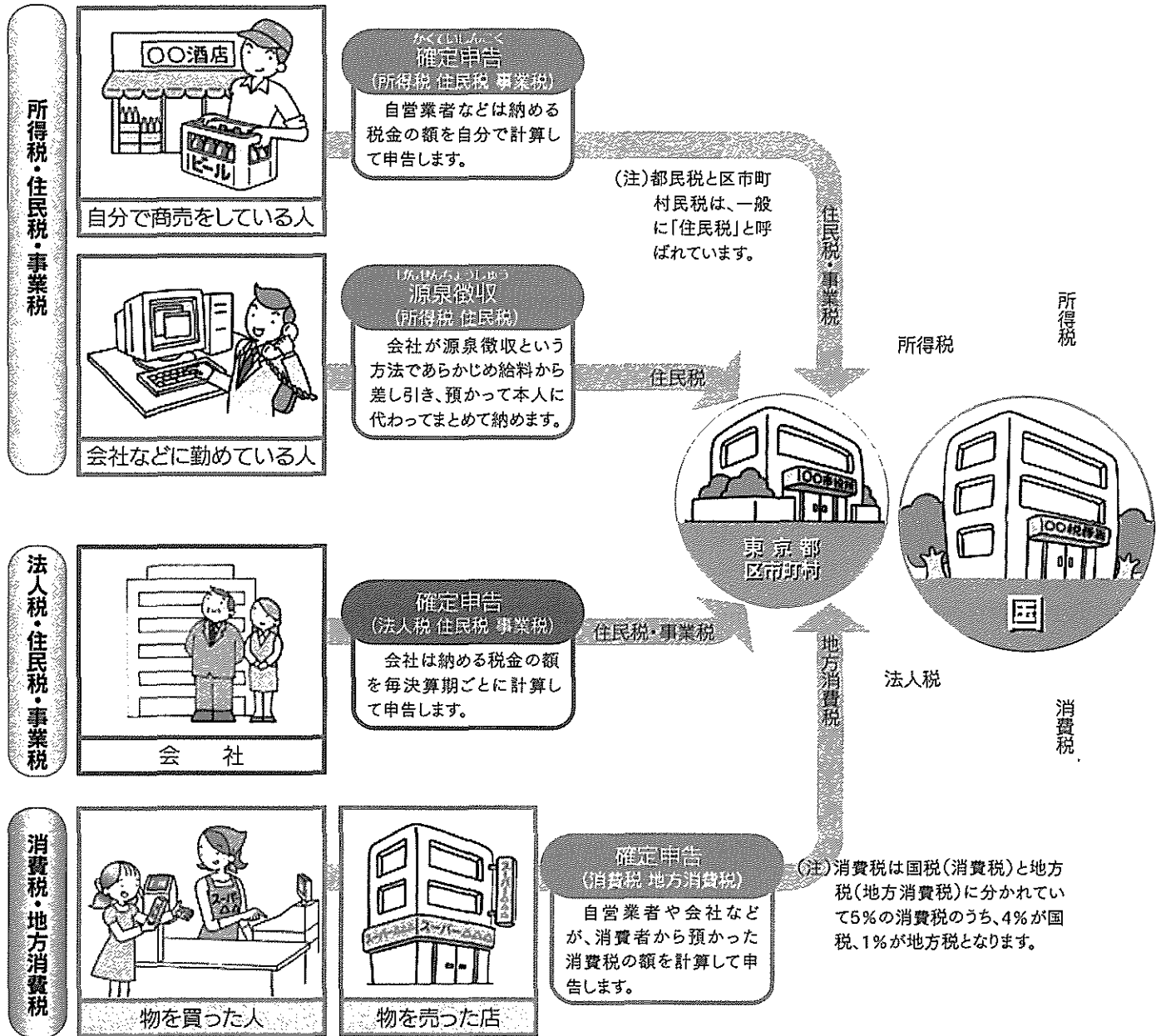
（平成23年度当初予算）



# 税金の種類と納め方

税金の種類や納税の方法は、人によって異なります。

## 税金の納め方



## 税金の種類

税金にはさまざまな種類があり、私たちは社会で暮らしていくなかで、いろいろな場面において税金を納めています。

### 直接税 (税を負担する人が直接納める税)

### 間接税 (税を負担する人とそれを納める人が異なる税)

#### 国税

所得税 法人税 相続税 贈与税など

消費税 酒税 たばこ税 たばこ特別税  
揮発油税 航空機燃料税 関税 印紙税など

#### 地方税

##### 都道府県税

都道府県民税 事業税 不動産取得税  
自動車税など

都たばこ税 ゴルフ場利用税 地方消費税など

##### 区市町村税

区市町村民税 固定資産税 軽自動車税  
事業所税など

区市町村たばこ税 入湯税など

(太字は、23区内では都税)

# 財政の役割

## 1 公共サービス・公共施設の提供（資源の配分）

財政とは国や地方公共団体の経済活動のことで、そのために必要なお金の大部分は税金として集められています。私たちが納める税金は、公共サービスや公共施設に形を変えて、生活のさまざまな場面で役立っています。

税金によって、個人や民間企業の力では行われにくい道路や下水道の整備などの公共事業を行い、地域に均等に公共サービスや公共施設を提供する（資源を配分する）働きがあります。

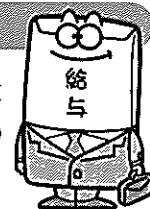


## 2 所得の調整（再分配）

税金は支払い能力に応じて負担することが原則です。そこで所得税などでは、所得の多い人ほど税率が高くなる方法で計算されます。これが累進課税制度です。この制度には、税金は所得の多い人には大きい負担を、所得の少ない人には小さい負担をしてもらうことで所得の開きを縮める働きがあります。

また、歳出面でも、社会保障の支出を通じて所得の少ない人の生活を助けています。

このように財政には、納税や歳出を通じて、国民の間の所得の開きを縮める（所得を再分配する）働きがあります。



## 3 景気の調整

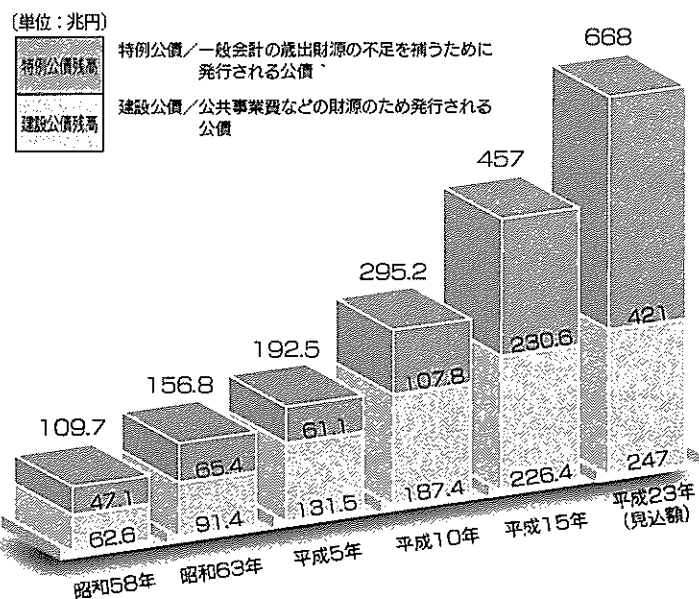
税には、景気（経済の活動のようす）の変動を緩やかにする働きがあります。景気が良いときには会社や個人の所得が伸びるので、税の負担も増えます。すると投資や消費に回るお金が抑えられ、景気の過熱にブレーキがかかります。一方で、景気が悪い時には所得が伸びないので税の負担が減り、投資や消費などにお金が行って景気の落ち込みを緩めます。また、歳出の面でも公共事業を増やすなどの方法をとることにより、景気を良くすることができます。

## 財政の状況と問題点

わが国の財政は、税収が減少傾向にある一方、歳出額は年々増加の傾向にあり、国の財政赤字は拡大しています。

この赤字分は公債の発行（国民などからの借金）でまかなわれており、平成23年度の予算では、一般会計歳入の約48%、金額にして約44兆円を公債の発行に頼っています。また、この公債の発行は毎年行われているために、平成23年度末の公債残高は約668兆円（国及び地方の長期債務残高は892兆円）にも膨れ上がると見込まれており、この借金の返済は、将来の国民にとって大きな負担となってしまいます。

### 公債残高の推移



#### ●特別公債

歳入が不足したために生じた赤字を補てんする目的で発行される公債（いわゆる「赤字公債」）。社会保障関係費の増加などにより、近年その残高が増えています。

#### ●建設公債

道路建設など、主に公共事業費の財源となる公債。道路など、将来世代も使用する社会資本の形成については、現役世代と将来世代がともに費用負担するという世代間の負担の公平化の観点から、公債発行によってその費用の一部をまかなっています。